

## 日和佐八幡神社秋祭りに集うサテライトオフィス関係者たち

「担ぎ手の確保が大変になってきているにしても、大切な伝統行事にここまで関わらせてもらってよいのか」

サテライトオフィス関係者、移住者からは、最初はそんな風に戸惑ったといった声が多く聞かれます。

一度参加すれば虜になる、自慢して友人たちも誘いたくなる素晴らしい祭り。一番の魅力は昔から見知った仲間のように気安く接してくれる住民の寛容さ、心意気だと絶賛するサテライトオフィス関係者は少なくありません。

地方創生において、多くの自治体で課題となっているのがサテライトオフィスや移住者の定着ですが、その点こそ美波町が全国的に注目されている要因でもあります。特に日和佐八幡神社秋祭りを通して育まれている地域とのつながりが大きいのではとされています。



(写真左) 担ぎ手として参加したサテライトオフィス企業関係者、移住者。株式会社ヒトカメディアは今年も高井代表を筆頭に6名が「ちょうさ」に挑みました。

(写真上) デュアルスクールの児童も子ども神輿の一員に。

今年は明石知幸監督、赤川修也映像監督をはじめとする映画「波乗りオフィスへようこそ」のスタッフも訪れ、俳優・伊藤祐輝さん扮するサテライトオフィス勤務の移住者が、太鼓若連中の責任者を務めるシーンの撮影が行われました。

映画のモデルとなったのはサイファー・テック株式会社に勤務する住吉二郎さんですが、偶然にも今年、恵比須浜太鼓若連中でも同様に、移住したサテライトオフィス関係者の責任者が誕生したのです。

地区では初めてとなる移住者からの責任者に選ばれたのは、山下拓未さんと小林武喜さん。

そのうちの1人、小林さん(写真右、中央)はサテライトオフィス開設第2号でもある株式会社鈴木商店「美雲屋」の責任者で、「ITもモノ作りの1つ」とのことから、地域では親しみをこめて「工場長」と呼ばれています。

9月には同地区で新居の棟上げ式も行ったとのこと。地域の一員として、さらには次世代を育成していく人材として、今後の活躍がますます期待されています。

